「こどもまんなか」絵画コンクール２０２６入賞作品・講評

小学生の部

■最優秀賞（北海道知事賞）

伊達市立伊達小学校　２年　刀祢　心々羽（とね　ここは）さん

題名：海の中へ GO！GO！

講　評

西表島の美しい海と楽しかったシュノーケリングの思い出が画面いっぱいに表現されています。色とりどりの魚たちや珊瑚などと仲よしになり、海に漂う優しく穏やかな気持ちが作者の微笑みから伝わってくる素敵な作品です。



■優秀賞（北海道教育委員会教育長賞）

七飯町立藤城小学校　５年　石田　慎之助（いしだ　しんのすけ）さん

題名：公園でお花見

講　評

画面中央に大きく描かれた円形の石畳と鮮やかな桃色の桜の木々が印象的な作品です。

一つ一つの花を何色もの桃色の点で描いたことで、立体感やボリュームが伝わるとともに、お花見の楽しさや美しい桜への感動が伝わってきます。



■特別賞（キユーピー賞）

美幌町立美幌小学校　１年　髙槻　ゆずは（たかつき　ゆずは）さん

題名：かぞくでごはんをたべているところ

講　評

家族で食卓を囲み笑顔で食べているところが伝わってきます。料理や食器からメニューもわかります。美味しい食事で楽しい様子がわかり、笑顔があふれている幸せな食卓が感じられます。家族の笑顔が一番の調味料かな。



■特別賞（北海道ＩＴ推進協会賞＝デジタル部門）

札幌市立新陽小学校　２年　首藤　凪（しゅとう　なぎ）さん

題名：みんなで花火

講　評

線香花火を競い合った時の嬉しさや悔しさがそれぞれの表情からよく伝わってきます。ろうそくの炎などの表現方法もとても印象的で、夏の夜に皆で花火をした楽しさがうまく表現された作品です。



■優良賞（北海道こども・若者応援協会会長賞）

札幌市立福井野小学校　３年　伊藤　みお（いとう　みお）さん

題名：おえかきは、てんごく！

講　評

とにかく絵を描くことが大好きなみおさん。描いているうちにどんどん思いが広がっていくのでしょうね。パティシエ、キャンプ、海水浴、家族旅行・・・。きっとこれからも思い出とともに夢もどんどん膨らんでいきますね。色のぬり方、一つ一つの描写など、丁寧に描かれています。これからもどんどんお絵かきを好きになってくださいね。



■優良賞（北海道こども・若者応援協会会長賞）

七飯町立七重小学校　４年　白鳥　瑛美華（しらとり　えみか）さん

題名：家族でおそろいくらげといっしょにはいポーズ！

講　評

家族みんなで水族館に行った楽しさが、絵を通していっぱい感じ取ることができます。ニコニコ笑顔なのが瑛美華さんなんでしょうね。くらげも水槽の中で伸び伸びとそして生き生きと泳いでいますね。スポットライトが当たった光の具合いも上手に表現されています。これからも家族旅行の思い出の１ページをどんどん増やしてくださいね。



中学生の部

■最優秀賞（北海道知事賞）

函館市立本通中学校　３年　吉本　華菜（よしもと　かな）さん

題名：「家族と笑顔と安心と」

講　評

家族で出かけた楽しかった旅行の様子を思い出して描かれています。一人一人の表情や洋服の質感の違いなども、絵の具の上に色えんぴつなどを重ねて、ていねいに描きこんでいます。清々しい景色が、みんな一緒に出かけた喜びを写しているようです。



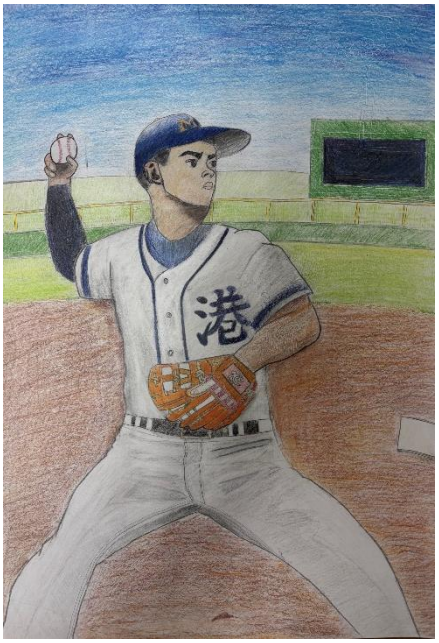
■優秀賞（北海道教育委員会教育長賞）

北斗市立茂辺地中学校　１年　髙山　弦（たかやま　げん）さん

題名：函館港西リトルシニアの僕

講　評

暑い夏の青空の下で、チームの勝利を目指して集中して投球している一瞬の自分の姿がしっかりと伝わってくる作品です。白いユニフォームに、丁寧に描き込んだしわの陰影、帽子の立体感、細部をしっかり描き込んだグローブなど、野球を愛する気持ち、真剣に取り組む情熱がストレートに観賞者に伝わってきます。



■特別賞（キユーピー賞）

蘭越町立蘭越中学校　３年　坂野　結月（さかの　ゆづき）さん

題名：家族の笑顔

講　評

口いっぱいに、おいしそうに食べている様子と一緒に食べて笑顔になっている楽しそうな様子が、よく伝わってきます。表情や口元、手の動きまで丁寧に描き分けられており、淡い色彩や巧みな筆使いなどの工夫も見事です。家族で仲よく食べる幸せな姿が素敵な作品です。



■特別賞（北海道 IT 推進協会賞＝デジタル部門）

市立札幌開成中等教育学校　１年　佐藤　小春（さとう　こはる）さん

題名：１番楽しい色塗り！

講　評

画面全体がカラフルで作品を見た瞬間に楽しさが伝わってきます。様々な画材が描かれていることで、タイトル通り「色を塗ることが好き！」という気持ちがよく表現されています。また、線画の色を変えたりあえて色をにじませたりと、デジタルソフトの機能を工夫して活用いる点も素晴らしいです。色塗りへの愛情と高い技術力が感じられる作品です。



■優良賞（北海道こども・若者応援協会会長賞）

函館市立本通中学校　３年　高木　華鈴（たかぎ　かりん）さん

題名：「はじめての一歩（屋外編）」

講　評

シャボン玉を追って、この子にとってのはじめての一歩をふみだした日のことでしょう。今にも一歩ふみだしそうで、シャボン玉が気になり、不思議を見つめる目がよく描かれています。お母さんの幸せな表情と大好きなお母さんにつかまる子の手の温かさが伝わってきます。



■優良賞（北海道こども・若者応援協会会長賞）

帯広市立翔陽中学校　２年　村山　夕樹乃（むらやま　ゆきの）さん

題名：最初の一投

講　評

向こう側のハウスを真剣なまなざしながら、指先まで神経を集中させて、渾身の一投を放とうとする瞬間が、細部の丁寧な描き込みによって見事に表現されています。リアリティのある構成や背景を、スピード感のある線の重なりで表すなど、自分らしい工夫が主題のメッセージを効果的に伝えています。



【審査委員】

氏　　名	所　　属
堀　口　基　一	北海道造形教育連盟会長　　（札幌市立日新小学校長）
福　島　由紀子	北海道造形教育連盟副会長　　（札幌市立平岸高台小学校長）
大　髙　雅　子	〃　　（札幌市立柏中学校長）
櫻　田　　悟	北海道造形教育連盟事務局長　（札幌市立手稲山口小学校長）
長　岡　広　之	北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課長補佐
小　川　健　一	キユーピー株式会社札幌支店家庭用営業課課長
森　元　康　輔	一般社団法人北海道ＩＴ推進協会理事
佐々木　凛　子	北海道芸術デザイン専門学校生（イラストレーション専攻）

＊敬称略